

人の命は重いって言うけど、私にはまだよく分かっていない。だって身近な人は普通に元気だし、物心つく前にしかお葬式に行ったことが無いし、ゲームではすぐにリスポーンしてくれるし。もしかしたらの話だけど、自分は高性能に作られているロボットなのかもしれない。いつか死んでしまうって言うのは、人生を有効にさせるための嘘なのかもしれない。秘密にしているだけで、本当はゲームみたいに生き返ることが出来るのかもしれない。私は死んだことが無いし、死んだ後の世界とか、本当に人は死ぬのかとかが分からない。だから、人の命とかその重さとかを考えても全然分からない。

でも最近コロナのせいで、毎日暗いニュースばかり流れてくるから、もし仲の良い友達や大事な家族がいなくなっちゃったらと思うとゾットする。最近見たネットニュースで得た情報だと、コロナにかかってしまう確率は3000分の1らしい。コロナにかかった人の中でも、帰らぬ人となる確率が30分の1以上。30人に一人が死亡していることになる。だけど世界の話ってだけで、日本だけにしたらもっと少ないはずだし、やっぱり命の重さとかはまだ、あんまり分からない。

なので、私はコロナ以外にも三つの確率について調べてみた。まず最初に交通事故で亡くなってしまう確率は、3万分の1。飛行機事故の場合だと、1億2500万分の1。事故にあったら怖いけど、確率はそこまで高い訳ではないので、恐怖心は全くない。次に自殺で死ぬ確率。日本は他の国と比べて自殺が多い方らしく、確率は50分の1。50人の内の一人。こう考えると、想像していたよりも多く、少し驚いてしまった。最後に隕石に当たって亡くなってしまう確率。調べてみたら160万分の1だった。こうみると全然低いじゃんって思っていたら、まさかの宝くじに当たる確率よりも高いと書いてあり、人は宝くじに当たるよりも隕石に当たる方がよりありえる話なんだと、ちょっと怖いなって思ってしまった。

私は他にも調べてみようと思い、色々な記事を見てみた。そして、ある記事を見てスクロールしていた指が止まってしまった。「突然ですが、人間の死ぬ確率は何パーセントでしょう?」「その答えは100パーセントです。」それを見た瞬間、私の心臓は他の人に聞こえるんじゃないかってくらいバクバクと鳴り出し、しばらく止まらなかった。

冷静になると、普通に当たり前の話で、こんなこと思いたくないけど、人は遅かれ早かれいずれは死んでしまう。ロボットな訳ないし、ゲームの世界って訳でもない。そんな事普通に考えてありえない。人は100パーセント死んでしまう。そりゃそうなんだけど、分かっていたんだけど、何故だか悲しい気持ちになってしまい、人の命は尊い物なんだと実感した。命の重さって言うのも、少し理解出来た気がする。

生きているものにとって1分1秒が本当に大事なもので、有難く思うべきことなんだって色々なことを調べることによって分かった。今近くにいる人に出会えなかったかもしれない。もしかしたら自分は存在していなかったかもしれない。だからもっと1日1日を大事にして、「せっかく貰った命なんだから絶対に無駄にしたいくない。」「後悔なんてしたくない。」そう思って生きていきたい。